



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「信念のあるミッション (使命・目標)」 “Mission with Faith”
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」 “Through Love, Serve”
西日本区理事主題	「あなたならできる! きっとできる!」 “You can do it! Yes, you can!”
中部部長主題	「踏み出そう 次の一歩のための今の一歩を」
金沢クラブ会長主題	「新しい一歩を踏み出せば、二歩目は自然についてくる」

2015 10 月間強調 BF EF

今月の聖句 (担当 西 信之君)

兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされるからです。ガラテヤの信徒への手紙5章13～14節

10月強調月間

国際的組織であるワイズを再認識し、世界の動きに即した活動をしましょう。
 中井信一国際・交流事業主任
 (奈良クラブ)

10月例会 プログラム

ガラテヤの信徒への手紙5章13～14節
 と き 2015年10月15日 (Thu.) 18:30～20:30
 と ころ 金沢ニューグランドホテル
 会 費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メネット)

司会 数澤輝夫君

開会・点鐘 清水淳 会長
 主 題 司 会 者
 ワイズソング 一 同
 今月の聖句 司 会 者
 ハッピーバースデー 清水淳 会長
 ゲスト紹介 幸正一 誠君
 食前の感謝 幸正一 誠君
 スピーチ 山田圭一 氏
 “私と障害者スポーツ”
 委員会報告 各 委 員
 ニコニコタイム 藤井辰男君
 YMCAの歌 一 同
 閉会・点鐘 清水淳 会長

9月 クラブ活動状況

第1例会 (9月17日 Thu.)

メ ン : 朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、藤井、山内 (8名)
 メキヤップ : 西、山本 (2名)
 出席率 : 100 %
 メネット : 伊藤、数澤、澁谷 (3名)
 ゲスト : 穴田芳江さん (1名)

第2例会 (9月1日 Sat.)

メ ン : 朝倉、伊藤、数澤、澁谷、清水、西、山本、山内 (8名)
 メネット : 数澤、山本 (2名)

ニコニコタイム

クラブファン ド 累計 12,000円 34,000円

BFポイント

切手 0g 累計 1,060g
 現金 0円 累計 0円

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30～20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会 : 毎月1日 18:30～20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

会 長 清水 淳 書 記 山内ミハル
 副 会 長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信
 直前会長 幸正一 誠 ネット会長 数澤淑子

砂浜に打ち上げられたアイランちゃんの写真

西 信之

シリアに侵入したイスラム過激派組織(IS)によって国土を追われた人々が難民となってトルコを経由し、ヨーロッパに大量に流入している。海をボートで渡る途中船が転覆し、幼いアイランちゃんがトルコの砂浜にうつぶせになって打ち上げられた写真は世界に大きな波紋を与え、次々とヨーロッパ各国が難民受入を表明するきっかけとなった。



トルコ政府は「オープンドア」政策の下、200万人を遙かに超える難民を受入、その支援に一兆円近くの費用を強いられている。しかし、トルコ国内で職を得られる難民の数は極めて少ないため、トルコから小さな船でギリシャに渡り、豊かなドイツに流れ込もうとする動きが止められない。今回のシリアからの難民は、恵まれた人々が殆どで有り、ドイツがその有能な人材を国力に取り込もうとしていることには、十分な理由がある。

歴史を翻って、新疆ウイグル自治区に隣接する甘粛省の秦邑の一族は元々はペルシャやコサック地方からの移民であったと言われているが、紀元前8世紀に秦国を建て、南に進軍し、更に紀元前4世紀に東の趙、魏、韓を滅ぼし、紀元前221年に始皇帝により中国を統一する。秦は、万里の長城や阿房宮の建設で農民を過酷に使役し、焚書坑儒などの思想政策も断行した。過酷な労働と極度の法治主義に儒教弾圧まで加えたことで、全国の不満を高めて反乱の芽を育てることとなり、揚子江沿岸の魏や呉、越の民族はブータンやインド南部など南西の辺境に移動したり、東海を渡って日本にボートピープルとして大挙して九州の南岸や北岸に流れ着くことになる。焼き畑農業しか知らなかった縄文人は、生産性の高い水稲耕作を行う難民移民である弥生人を受入、やがて心優しい縄文人は弥生人に吸収されてしまう。この模様は、史記の徐福の渡海

記事や、古事記、日本書紀にあるように天孫降臨したニニギノ尊が鹿児島島の南西の黒瀬海岸に漂着したという記述に示されている。実際は、紀元前3世紀のことであろう。その後、鑑真が難破してこの海岸に漂着したことも、この黒潮の道が中国から海流に乗って多くのボートピープルが渡った海路であったことが判る。現在の日本人の4～5割は日本固有の縄文系のD1bと呼ばれるY染色体ハプログループを有し、これは長寿遺伝子とも言われる。弥生系は0(オー)2を持つ。漢民族は03ハプログループを多く有するが、この系統は勝つためには手段を選ばずという性格が強く、日本の支配層に多いと言われる。しかし、これらの遺伝子が混在していることが現代人の特徴であり、民族混交の証拠である。

日本に限らず、アメリカ大陸のほぼ全土、そしてヨーロッパの各地に民族混交の名残がある。死者を美しい花で送ったという心優しいネアンデルタール人が、言葉をうまく話せなかったため、やがて知能に優れたクロマニヨン人に吸収されてしまい、遺伝子にその証拠を残したことも、同様であろう。

異民族の混交は、より優れた人類の誕生の連鎖を招き、人は進化して行くし、より多様な人類が登場する。日本人には不可能と思われた運動競技で、アフリカ系の混血日本人が活躍している。混血児達は、やがて今までは無かった新しい文化をも生み出すであろう。世界は常に変わっている。アイランちゃんは、生き残った同胞達の希望に生まれ変わって行くだろう。

イタリアン料理“Tanaka1975”での食事会

澁谷 洋太郎

昨年7月24日のフレンチ風ビストロでの(メネット会)食事が好評だったので、今年も何か美味しいものを食べたいと、自称美食家幸正メンが言い出して、開催の運びとなりました。



9月7日、問題のお店はイタリアン料理“Tanaka1975”に決まりました。

当日私は、幸正車に同乗してすこし早めにお店に到着しました。初めてのお店なので皆が迷わないで来るようにと願っておりました。時間の15分前になっても店の明かりがつきません、心配して店に尋ねたら5分前に点灯すること、お客さんが待っていても中には入れてもらえないのです。店の方針があるのだなと感心しました。

さて、お料理 8品の料理です。

- 1 チリメンキャベツとサフランのスープ
- 2 水なすとグレープフルーツのサラダ
- 3 平目と赤イカのマリネ
- 4 サンマのコンフィ
- 5 P i z z a マルゲリータ
- 6 魚介のトマト煮込みショートパスタ



- 7 能登牛スネ肉の煮込み
- 8 バターナッツのテリーヌ

私は食通ではありませんので批評は出来ませんが、美味しかったことは本当です。



1ヶ月前の料理のお味を思い出してください。また、食べに行きたくなると思います。

店の印象がこれほど変化するのは初めてです。現役の頃、会社が東金沢駅の前でしたので、お昼にときどき寄った食堂なのです。親父さんから代かわりして息子の代になり、店構えも一新してしかもハイカラにもイタリアン料理で、しかも味もしっかりしている、ファンになりそうです。

幸正さんありがとう。

山田圭一氏 プロフィール

1965年 2月 石川県羽咋市生まれ

県立羽咋高校卒

明星大学 大学院 修士課程修了

石川県障害者スポーツ協会事務局次長

石川県障害者スポーツ指導者協議会副会長

Happy Birthday

山本 典子さん

10月27日

全国リーダー研修会に参加して

清水 淳

9月19～22日に名古屋 YMCA 御岳日和田高原キャンプ場で行われた全国リーダー研修会に参加しました。全国のリーダーたちが集う全リー研は今年で第46回となります。

大学時代に全リー研の前身である第12回と第14回の全国体育リーダー研修会に参加しており34年ぶりの参加でした。

今回は名古屋 YMCA が主管のため中部のワイズメンズクラブがサポートすることになり、10名以上のワイズメンがボランティアとして参加しました。

グランパスクラブのみなさんが献立の作成・食材の調達・調理を担当し、初日の夕食は「名古屋めし」をテーマに名古屋名物の味噌カツ・きしめん・手羽先、東海クラブによる五平餅、四日市名物のトンテキなどがふるまわれ、リーダーたちの胃袋を満たしました。

キャンプソングは名古屋クラブの方々のギター伴奏で盛り上がりました。

研修会だけではなく、夏のキャンプの準備には東海クラブのみなさんが参加され、キャンプ中には南山クラブのみなさんが来られ、キャンプでの「魚つかみ～岩魚塩焼」のプログラムを旧プラザクラブのみなさんが準備されるなどワイズメンがYMCAのプログラムを支えていることを再認識しました。

研修会では日本キャンプ協会酒井哲雄名誉理事の講演がありました。酒井さんは元大阪 YMCA 副総主事で阿南海洋センターの所長を長く務められていました。当時の大阪 YMCA のリーダーにとって酒井さんはキャンプの神様でした。90歳を超えた今も大学やキャンプ場で講演・指導をされています。研修会終了後にゆっくりとお話をさせていただく時間があり、酒井さんが一時期金沢 YMCA にも勤務されていたという話を初めて

聞きました。昔のYMCAの会館や金沢教会や香林坊の福音館書店のことを懐かしそうにお話されていました。

リーダーたちは深夜までテーマに基づく話し合いやスタンツ（寸劇）の準備をしていました。それに負けないくらい大人チーム（酒井さん、神崎京都Y総主事、中村名古屋Y総主事、若手スタッフ、牧師先生）もYMCAのことキャンプのこと教会のことなどについて夜遅くまで語り合いました。



御岳日和田キャンプ場は高山市中心から約1時間、金沢からは東海北陸道・中部縦貫道経由で190km約2時間半の場所にあり御岳・乗鞍を望む高原です。8月のキャンプ期間中にも数日滞在させてもらいましたが、高原の避暑地での生活は快適でした。1,000mを超える標高のため涼しく、高地トレーニングにも適していることから青山学院大学や世羅高校など駅伝強豪校が合宿をしていました。またキャンプの様子を間近で見ることができ、メンバーやリーダーそして日韓ユースセミナーで来日中のソウルYMCAの人たちとも接点を持つことができました。懐かしい場所に帰ってきたようなそんな時間を過ごすことができました。来年も訪れたいと思います。そしていつの日か金沢Yのキャンプができればいいなとも思いました。

19月例会報告

9月は「メネット強調月間」でした。「ふだんあまり例会に参加のないメネットに例会参加を呼び掛けましょう」というのが趣旨のようですが、金沢クラブではメネットの例会参加は普通のことで、いつのころからかこの月間は「メネットアワー」としてメネット会がゲストスピーカーの依頼から、プログラムのすべてをメネットが担当することになっています。今回はなにか楽しい趣向をと相談の結果、私の友人でマジシャンとして20年以上ご活躍の穴田芳江さんに依頼しましたところ、過密なスケジュールの中ご快諾いただきました。持つべきはよき友人です。いつもの例会会場

ではマジックをやるのにちょっと狭い感じがして、出来れば大き目の会場をお願いしたところ、9月例会日はホテルが非常に立て込んでいて、いつもの部屋さえも確保できない可能性もあるとの返事、それでも「なんとか考えます」と言って下さった金沢ニューグランドホテルの村田さんを信じて待っていたところ、便宜を図ってくださりアネックスのポロをご用意くださいました。ふだんはバイキングスタイルのレストランを急遽、テーブルをすべて移動させて会場を作って下さいました。ホテルの心遣いに心より感謝いたします。広い会場にいつもより出席者が少なかったのはちょっと寂しく残念でしたが、マジックをされる方には広くてやり易かったのではと思います。

例会は澁谷メネットの司会で進行し、プログラム通りにすべてメネットが担当いたしました。ゲスト紹介の後、ゲストの穴田芳江さんは準備のため席を離れました。マジックショーは準備と片付けがとても大変なのです。あらかじめ、プログラムをお伝えして、お食事もご一緒にとお願いしたのですが、食事の時間に仕込むものもあるそうで、丁重にお断りされました。なるほど、前もって準備できるものと、早くから仕込みができないものがあるようです。あまり根ほり、葉ほりは営業妨害にもなるのでお手伝いも差し控えて、食事の後のマジックショーを楽しみにして、いつもとは違うレストランのお食事を楽しみつつしばし歓談、ショーの始まりを待つことにしました。さて、食事も終わり、準備も整い、真っ赤なドレスにお召替えのマジシャン、愛華ひとみ（穴田芳江）さんの登場、軽快なルンバのリズムに乗せてマジックショーの始まり始まり！



大きなリングを巧みに操り、組み合わせたり繋いだりしていろんな形を作ったり、色とりどりのシルクのハンカチーフがあらあら不思議！不思議！次々と楽しい美しいマジックが繰り広げられました。途中、会場とのお遊びも入り、「なんでかな？」と頭をひねる場面

もありましたが、あまり深く考えない、これがマジック、巧妙な芸を楽しめばいいのです。最後に身近にあるものを使って私たちにも出来るマジックを4つ教えてもらいました。家に帰ってちゃんと復習しましたか？今度飲み会などで是非ご披露ください。

(文責 数澤淑子)



~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆びわこ部会

日 時：2015年10月10日(土)
場 所：休暇村 近江八幡 西館
登録費：5,000円
参加予定：澁谷

☆滋賀蒲生野クラブとの合同例会

日時：2015年10月18日(日)～19日(月)
場所：湯湧温泉 「お宿 やました」
参加予定：朝倉、伊藤、メット、数澤、メット、
幸正、澁谷、メット、清水、山内、
山本、メット、朝倉 YMCA 理事長

~~~~~ ネット報 ~~~~~

信州への小旅行

9月11日、12日の2日間金沢工業大学の天池会(主人が教職員OBであり会員)主催の妙高池ノ平セミナーハウス研修旅行に参加して信州旅行を楽しみました。天池会の行事には、もう7～8回参加しており楽しみにしております。今回は服部陽一先生ご夫妻も初参加で39名参加の賑やかなバス旅行となりました。

予定では、まず黒部のYKKファスナー・サッシュのショールーム見学そして次は松代象山地下壕とありました。最初はどんな処を見学するのかなと軽く考えておりましたが、現場へ着いてびっくりしました。今年には戦後70年とか。戦前生まれの者として恐れを抱きながらの見学になりました。

良く理解できなかったので資料を転記いたします。松代象山地下壕(まつしろぞうざんちかごう)佐久間象山の生誕地であり、つい(しょうざん)と発音してしまいましたがこの地では(ぞうざん)と呼びます。松代象山地下壕とは松代大本営地下壕は舞鶴山(現気象庁松代地震観測所)を中心として皆神山、象山に基盤目のように掘抜かれ、その延長は10km余りに及んでいます。

2次世界大戦の末期、軍部が本土決戦最後の拠点として、極秘のうちに、大本営・政府各省等をこの地に移すという計画のもと、昭和19年11月11日から翌20年8月15日の終戦の日まで、9か月の間に掘られたもので突貫工事をもって、全工程の8割が完成しました。この建設には、当時の金額で1億円とも2億円とも言われる巨費が投じられ、また、労働者として多くの朝鮮や日本の人々が強制的に動員されたと言われ

ています。

戦後は、訪れる人も少なく忘れ去られようとしていましたが、平和な世界を後世に語り継ぐ上での貴重な戦争遺跡として、多くの方々にこの存在を知っていただくため、平成元年から壕の一部を公開しています。地下壕の断面は、底長4メートル頂高2.7m。20m間隔に掘削されており、50mごとに横の連絡杭がある。長野市が管理しており、見学者にはヘルメットを着けての見学となります。

壕の中は薄暗い照明で湿り気や水滴があり掘削現場そのもので、終戦当時を思い出して、作業をした人々を思いやりました。

嫌な思いを拭い去り次の朝は池ノ平にある「いもり池」へと散策を楽しみました。池ノ平には東京YMCAの妙高ロッジがあります。ロッジの横を「ここだね」と言いながらそして池の水面に妙高山が映るのを見て感動しました。散策の途中に上武大学の駅伝部が箱根駅伝を目標に合宿しているのを励ますことも出来ました。さわやかな高原の空気を胸いっぱい味わい元気を維持して来年も妙高を楽しみたいと願っております。

(澁谷 節子 記)

11月の担当

聖句担当：藤井 辰男君
ブリテン執筆：藤井 辰男君
山内ミハルさん
卓話担当：澁谷洋太郎君